

幼児期からの皮膚症状が治療後にゆっくり軽減した小児アトピーの経過 (6歳 女児)

症例 ID：001-06-SS2 | 記録日：2016年10月17日

1. 診断・治療前経過

幼少期から肌荒れが多く、小児科受診のたびに保湿剤や弱いステロイド外用薬を使用していました。2016年に入り湿疹が強くなり、外用をやめても症状が続きました。2016年7月27日、夏休みを利用して治療を開始しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	幼少期から保湿剤と弱いステロイド外用薬を断続的に使用しました。
製品名	不明です。
強度	弱い外用薬と説明されています。
使用期間	幼少期から6歳頃まで断続的に使用しました。
中止時期	2016年7月以前です。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
2016年初め	症状悪化	湿疹が目立つようになり、本人も気にするようになりました。
2016年7月27日	治療開始	煎じ薬と外用処置を開始しました。
2016年8月	初期変化	浸出液と、保冷剤が必要なほどの強いかゆみがみられなくなりました。
2016年9月	経過中	指の症状はほぼ消え、膝裏と肘周囲に乾燥が残りました。
2016年10月	記録時点	目立つ強い症状の波はなく、ゆっくり改善していました。

4. ピーク時期

ピークは、治療前に膝裏、足首、腕などの湿疹とかゆみが強く、浸出液や保冷剤が必要な時期があった頃です。

5. 困りごと

- 湿疹が本人の心理的な負担となっていました。
- 海水やプールで創部がしみることを心配していました。

6. 経過のまとめ

治療開始後は目立つ強い症状の波を伴わず、浸出液と強いかゆみが減りました。
2016年9月には指がほぼきれいになり、膝裏と肘周囲の乾燥を残して改善していました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。